

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かへた		
○保護者評価実施期間	令和7年2月5日		令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年2月13日		令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な体験活動	年齢や課題別にグループ分けをし、それぞれに合った活動や体験の場を設けています。 おもてなしカフェで人に喜んでもらったり、一人ひとりの頑張りを集めて一つの大きな作品作り、「はたらく」について考える→体験→お楽しみイベントなどに取り組んでいます。	年間行事予定を立て、各活動のねらいをしっかりともちながら一人ひとりが経験を積み重ねられるよう取り組みます。 また、こども達が主体的に取り組めるようサポートしながら進め安心して失敗できる環境も整えます。
2	個別支援計画を基にしたPDCAサイクルの取り組みの充実 ・アセスメント ・ニーズや意向の把握 ・計画 ・支援 ・評価	5領域の視点で整理された事業所独自のアセスメントシートを使用し、課題の抽出や子ども本人の振り返りシートをしようしたりや意向を話やすい場とするため保護者とは別の機会に設定しています。 支援や評価については児発管だけでなく、スタッフがチームで積極的に関わることができるようにしています。	子どもが主体的に個別支援計画(応援シート)に関わり、取り組めるよう必要な工夫について今後も検討します。 また、計画が置き去りにならないように計画に対しての評価を丁寧に行います。
3	関係機関との連携と協議会への参画	学校や各関係機関と連携をとりながら支援できるよう送迎時や連絡等、かへたでの様子をお伝えしたり聞かせていただいたりなど、必要に応じて情報共有をさせていただいています。 協議会に参画し、放デイの課題や教育と福祉の連携についてなどに取り組んでいます。	特に学校や相談支援事業所との連携を密にして支援ができるよう取り組みます。 教育との連携について取り組み個別支援計画とつなぎ愛シートの連携・運動に向けて取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援に対する取り組み	保護者より相談があれば相談支援を行っていますが、気軽に相談していただけるようなご案内を丁寧には行えていない状況です。また、保護者やきょうだい児の交流の機会や保護者研修などを開催することができませんでした。	お気軽に相談していただけるように窓口等をわかりやすくお伝えします。 保護者やきょうだい児が交流できるようなイベントの開催に向けて準備を進めます。また、保護者向けの研修や成人事業所の見学等の機会を作ります。
2	事業所の活動、取り組み内容の発信	安全計画に関する訓練や安全指導、各点検、非常災害に関する取り組み、日頃の様々な活動についてなど取り組んではいるが発信が弱く、取り組み内容が伝わっていないことがある。	おたより等を定期的に発行し、保護者や関係機関に取り組み内容を発信する。また、それに対してのご意見等もいただけるよう工夫していく。
3	支援の質の向上	事業所の弱みということではないが、支援スキルについてや放課後等デイサービスガイドラインに添った学びなど、支援の質の向上に向けての取り組みが必要であると感じています。	外部研修や法人内の研修、オンデマンド研修また、事業所の現状に応じた支援スキルの学習会等、年間予定をたてて取り組みます。